

子育てを「ちょこっと」体験して先輩家庭と話して両立のヒントを見つけよう

子育てと仕事の両立体験研修事業「**家族シミュレーション**」のご提案

令和元年度（2019年）神奈川県かながわボランティア基金 2.1 補助事業

ご提案の背景

妊娠・出産前後の社員の退職には、意外な要因があることはご存知ですか？

妊娠・出産前後の退職理由には、「両立が難しそうで不安だ」、「職場に両立を支援する雰囲気になかった」という声が多くあります。会社として制度を整え、社員も働き続ける気持ちでいるにも関わらず退職してしまうのは、会社・社員双方にとって損失といえましょう。そのためには、子育てが始まる前に仕事と子育てとの両立への不安を減らしたり、両立に向けたコツを知ることにより自信をつけることが必要です。また、会社として制度を運用する上でのソフト面での支援が重要かつ必要だと言えます。

家族シミュレーション プログラム概要

ちょこっと育児体験（保育園のお迎え、食事体験等）を通じた共働き家庭との交流による両立支援

家族シミュレーションは、認定 NPO 法人びーのびーのを利用する先輩家庭と共に、子育て前の若手社員に育児体験を軸とした仕事と子育ての両立体験を行う研修プログラムです。体験日・コースは選択でき、乳幼児と関わったことがない人でも安心・安全に体験できるように、現役保育士によるサポート等支援があります。また、ただ「子育て体験だけ」に終わらないように、体験の共有、職場環境を考える有識者とのワークショップを行います。プログラムを通じて、自分自身、職場全体の仕事と子育ての両立への意識変革につながります。詳細は、別紙をご参照ください。

家族シミュレーションが生み出す効果

◎参加社員個人として

共働きへのポジティブなイメージづくり・子育て中の同僚に対するパートナーシップの向上

◎参加企業として

子育て中の社員を含めて「お互いさま」という協力的な職場の雰囲気の醸成

会社の「両立支援制度」についての見直しのきっかけ・「両立の課題に直面しての退職」の予防

「家族シミュレーション」は、実際にプログラムに参加する若手社員にとって仕事と子育ての両立について知識を得る機会になります。加えて、その社員が職場や組織にいる子育てや介護などを行っている別の社員に対してポジティブな反応をするきっかけにもなります。それが、職場全体についてのポジティブな影響を与える機会につながります。

**対象となる社員がいらっしゃいましたら、また妊娠・出産前後の退職にお悩みでしたら
お気軽にお問い合わせください**

法人について

平成 12(2000) 年法人設立。職員 70 名、ボランティアなどを含む会員約 200 名、平成 30 (2018) 年 12 月認定 NPO 法人取得。横浜市港北区において親子が密室育児にならないよう、地域のシニアやボランティアの力を借りて、みんなで子育てをする環境づくりをしたいという理念のもと、子育て支援事業を開始しました。平成 30 年度、神奈川県補助金を受け、企業や有識者と連携して人材育成事業として家族シミュレーション事業を開始しました。

お問合せ 認定 NPO 法人びーのびーの 地域 remix 畑中祐美子・山口麻津子

kikaku@bi-no.org/TEL045-877-2156

横浜市港北区大倉山 2-7-47 シャトレ大倉山 103

